

技術の研究開発



「鹿島カットアンドダウン工法®」の第二弾が完了

2008年に行われた当社旧本社ビルの解体で実用化した「鹿島カットアンドダウン工法®」の第二弾となる「リそな・マルハビル」（東京都千代田区）解体工事が1月末に完了しました。この工法の特徴は、地上1階部分で解体作業が行えるため、安全に効率よく作業ができるうえ、騒音・振動や粉塵飛散が抑制されることです。さらに、在来工法に比べて工期も大幅に短縮できます。作業の安全性、周辺環境への配慮、地球環境の負荷低減のメリットがある究極の環境配慮型ビル解体技術は、今後の超高層ビル解体の新スタンダードとなることが期待されています。



上段：2012年10月23日
中段：2012年12月1日
下段：2013年1月16日



山岳トンネル技術の「ツインショット工法」を開発

当社は、山岳トンネル工事のコンクリート吹付け時間を50%短縮する「ツインショット工法」を開発し、実用化しています。トンネル工事の長距離化、コスト低減、工期短縮が求められている現在、画期的な技術として注目されています。



「無人化施工システム」がロボット大賞の優秀賞を受賞

東京電力福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋の工事で導入している「無人化施工システム」が、第5回「ロボット大賞」のロボットビジネス・社会実装部門にて優秀賞を受賞しました。当システムは、約500m先から重機10台の遠隔操作を可能とするものです。